

カーブスの栄養補助食品には、現在問題となっている製薬会社製造の紅麴(べにこうじ)を一切使用しておりませんので、ご安心ください

小林製薬製造の紅麴サプリメントの利用者が腎機能障害により入院、死亡する事案が報道されています。

カーブスの「ウルトラプロテイン」では、全商品に「米麴」を使用し、ブルーベリー味に「ベニコウジ色素」を使用していますが、小林製薬製造の紅麴原料とは一切関係がなく、安心してお召し上がりいただけるものです。

1. 紅麴(べにこうじ)について

今回、小林製薬製造の紅麴(べにこうじ)サプリメントの利用者が腎機能障害により入院、死亡する事案が報道されています。しかしながら、紅麴そのものに毒性があるわけではありません。小林製薬で製造されたある特定の製造ロットにおいてのみ、通常の紅麴からは検出されない未知の成分が検出され、その成分が腎機能に障害をもたらした可能性が高いとされています。

ウルトラプロテインに入っている「米麴」や「ベニコウジ色素」は、小林製薬の原料とは全く異なるメーカー、工場で製造されたものですので、安心してお飲みいただけます。

2. ウルトラプロテインに入っている「米麴(こめこうじ)」について

ウルトラプロテインに使用している「米麴」は、「白麴(しろこうじ)」という種類で、ニュースになっている「紅麴(べにこうじ)」とは種類が異なりますし、製造メーカーも工場も異なります。ご安心ください。

3. ブルーベリー味に入っている「ベニコウジ色素」について

カーブスのウルトラプロテインブルーベリー味で使用している「ベニコウジ色素」は、「紅麴」から色素のみを抽出したものです。小林製薬の「紅麴(べにこうじ)」とは、製造メーカーも工場も全く異なります。ご安心ください。

「ベニコウジ色素」はブルーベリーの色合いを安定させるために配合しています。ベニコウジ色素は、古くから使われている天然由来の食品添加物です。ベニコウジ色素自体に毒性や発がん性は確認されておらず、カーブスでも当然、食品添加物として厚生労働省の規定を満たしたものを使用しています。

以下、厚生労働省による食品添加物に関する引用です。

「食品添加物は、保存料、甘味料、着色料、香料など、食品の製造過程または食品の加工・保存の目的で使用されるものです。厚生労働省は、食品添加物の安全性について食品安全委員会による評価を受け、人の健康を損なうおそれのない場合に限って、成分の規格や、使用の基準を定めたうえで、使用を認めています。」